

様式第1 (第3条関係) (表面)

~~特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置 (使用、変更) 届出書~~

2012年6月24日

和歌山県知事 様

住所 (所在地)
〒〇〇〇—〇〇〇〇
届出者 和歌山市〇〇1丁目〇番〇号

氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇 印

(TEL 〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、
~~特定施設 (有害物質貯蔵指定施設)~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇株式会社△△事業所					
工場又は事業場の所在地		〒〇〇〇—〇〇〇〇 〇〇市△△1-2-3					
第5条第1項関係	特定施設の種類			※整理番号			
	有害物質使用特定施設の該当の有無			有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>			
	△特定施設の構造			別紙1のとおり。			
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)			別紙1の2のとおり。		※受理年月日	年 月 日
	△特定施設の使用の方法			別紙2のとおり。		※施設番号	
	△汚水等の処理の方法			別紙3のとおり。		※審査結果	
	△排出水の汚染状態及び量			別紙4のとおり。			
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量			別紙5のとおり。			
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。					
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			※備考			
	△有害物質使用特定施設の構造			別紙7のとおり。			
	△有害物質使用特定施設の使用の方法			別紙8のとおり。			
	△汚水等の処理の方法			別紙9のとおり。			
	△特定地下浸透水の浸透の方法			別紙10のとおり。			
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。	担当部署等 及び連絡先	〇〇部〇〇課 〇〇係 (XXX-XXX-XXXX)			

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 9 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

「様式第1」についての記載方法

平成24年6月1日以降に有害物質貯蔵指定施設を設置しようとする場合、水質汚濁防止法（以下「法」という。）第5条第3項に基づく「設置届出書」を、設置の60日以上前々に、管轄する保健所（和歌山市内の場合は、和歌山市役所）に提出しなければなりません。

なお、有害物質貯蔵指定施設についての届出は、「法第5条第1項関係」及び「法第5条第2項関係」についての届出の必要はなく、「法第5条第3項関係」に係る届出のみとなります。

1 届出者

有害物質貯蔵指定施設を設置しようとする工場・事業場の代表者を記載。

法人（会社）の場合は、原則、住所は本社・本店等の住所、届出者は代表取締役等の代表者、電話番号は、本社の代表番号等を記載。また、代表者印の押印が必要（ただし、法人代表者が署名している場合は不要）。法人代表者以外で届け出る場合は、法人代表者から届出者への「委任状」を添付。

個人事業主についても同様の記載・押印が必要。

日付は、原則届出する日を記載。

2 工場又は事業場の名称

有害物質貯蔵指定施設を設置しようとする工場又は事業場の名称を記載。

3 工場又は事業場の所在地

有害物質貯蔵指定施設を設置しようとする工場又は事業場の所在地を記載し、当該所在地が分かる地図等を添付。

4 担当部署等及び連絡先

届出書の記載内容についての問い合わせに対応できる担当部署等及びその電話番号について記載。

5 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別

有害物質貯蔵指定施設にチェック。

6 △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造

「別紙12」へ記載。

7 △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備

「別紙13」へ記載。

8 △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法

「別紙14」へ記載。

9 △施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統

「別紙15」へ記載。

有害物質取り扱いリスト

事業場名称	記入担当部署（又は担当者）	連絡先 TEL
〇〇株式会社 △△事業所	〇〇部〇〇課 〇〇係	XXX-XXX-XXXX

有害物質	該当すれば「○」を記入				使用等期間 (有害物質の取り扱い開始から 終了まで)
	今後(も) 取り扱う	過去に 取り扱っ ていた	特定施設 (有害物質貯 蔵指定施設) で取り扱う	特定施設 (有害物質貯 蔵指定施設) 以外で 取り扱う	
四塩化炭素					
1, 2-ジクロロエタン					
1, 1-ジクロロエチレン					
1, 2-ジクロロエチレン					
1, 3-ジクロロプロペン					
ジクロロメタン		○		○	H13 頃まで
テトラクロロエチレン					
1, 1, 1-トリクロロエタン					
1, 1, 2-トリクロロエタン					
トリクロロエチレン					
ベンゼン	○	○	○	○	S50 頃～
カドミウム及びその化合物					
六価クロム化合物					
シアン化合物					
水銀及びその化合物					
セレン及びその化合物					
鉛及びその化合物					
砒素及びその化合物					
ふっ素及びその化合物					
ほう素及びその化合物					
シマジン					
チオベンカルブ					
チウラム					
ポリ塩化ビフェニル (PCB)					
有機リン化合物 (注1)					
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物					
塩化ビニルモノマー					
1, 4-ジオキサン					

これら上記の全有害物質を取り扱っていない場合は右の空欄に○をご記入ください。

- 注1 有機リン化合物とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、EPNをいう。
 注2 有害物質を取り扱うとは、有害物質を製造、使用、処理又は貯蔵する等することをいう。
 注3 取り扱う有害物質がある場合は、さらに「有害物質の取り扱い状況」に記入が必要です。

有害物質の取り扱い状況

有害物質	薬品名・取り扱い場所（特定施設(有害物質貯蔵指定施設)で取り扱う場合は、どの施設で取り扱われるのか）・取り扱う目的・取り扱い方法・廃液の処理方法・その他
ジクロロメタン	薬品名は▲▲（別添MSDS参照）。○○のために使用される機械の部品について、油脂を除去・洗浄する時に使用していた。現在は使用していない。部品を水洗等したのち、▲▲をしみ込ませた布で最後に拭いていた。この布は廃棄物として処理。薬品の入った容器も廃棄物として処理していたので、廃液は全て回収されている。排水にも一切含まれない。
△△△△	原材料である□□（△△△△は含まない）は液体で購入する。タンクローリーで運ばれた□□は、一度タンクに貯蔵される。タンクから配管により、製造ラインに入り、化学処理により、△△△△を製造する。製造した△△△△は、製造ラインから配管を通じてタンクに一旦貯蔵され、ここからタンクローリーにより、各地に運ばれる。

過去取り扱っていた、または今後使用等する有害物質すべてについて記入すること。
有害物質が取り扱われている薬品の成分がわかるもの（MSDS 等）を別途添付すること。

「有害物質取り扱いリスト」及び「有害物質の取り扱い状況」の記載方法

1 「有害物質取り扱いリスト」

工場・事業場において一覧にある水質汚濁防止法に定める有害物質を製造、使用、処理、又は貯蔵するなど、有害物質を取り扱う（以下、「取り扱う」と言う。）場合には記入して下さい。また、取り扱うことがない場合は、最下の欄に○を記入してください。有害物質貯蔵指定施設で貯蔵する有害物質だけでなく、これら以外に届出する工場・事業場内で使用等される有害物質についても、取り扱いの有無を記載下さい。

記入にあたっては、取り扱いの開始が、書類作成以前からか以後からかについて、どちらか、または両方に○を付けてください。また、取り扱っていた期間についても記入下さい（過去に取り扱っており、現在取り扱っていない物質についても可能な限り記載下さい）。

また、特定施設（※）又は有害物質貯蔵指定施設で取り扱うのか、それともこれら以外で取り扱うのかにつきましてもどちらか、または両方に○を付けてください。

（※）特定施設とは水質汚濁防止法施行令別表第1に規定された施設です。

2 「有害物質の使用等の状況」

リストアップされている有害物質について、取り扱う場合は、それぞれの項目について、薬品名・取り扱い場所（特定施設(有害物質貯蔵指定施設)で取り扱う場合は、どの施設で取り扱われるのか）・取り扱う目的・取り扱い方法・廃液の処理方法等について記入してください。

以下にも、記載例を示します。

有害物質	薬品名・取り扱い場所（特定施設(有害物質貯蔵指定施設)で取り扱う場合は、どの施設で取り扱われるのか）・取り扱う目的・取り扱い方法・廃液の処理方法・その他
六価クロム化合物	薬品名はXX（別添MSDS参照）。原材料は粉体であり、〇〇保管室に保管している。〇〇という特定施設で使用している。製造する金属部品の表面処理に使用。粉体を、当該特定施設の槽で水に溶かして表面処理溶液を作成する。廃液は、殆ど産廃として回収し処理するが、一部回収しきれないものは排水処理施設で処理後、排出される。
鉛化合物	様々な試薬類に含まれており、試験研究時に使用する。使用は研究室内に限られ、廃液及びこれらに使用したフラスコなどの機具類の洗浄水も、鉛が検出限界以下になるまで全量回収し産廃処理するため、排水中には一切含まれない。
シアン化合物	薬品名はYY（別添MSDS参照）。現在設置している特定施設で今も使用している。製造する金属部品の表面処理に使用。薬品を、機械の容器に流せば後は自動で表面加工する。廃液は、排水処理施設で処理し排出している。
アンモニア	アンモニア水（20%w/w）として、最大貯蔵量8tの地上タンクに貯蔵している。アンモニア水は、〇〇を中和するために使用している。アンモニア水は、タンクローリー車からタンクに供給され、タンクから生産設備に流入する。

~~有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）~~の構造

工場又は事業場における施設番号	A - 1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	□ 有害物質使用特定施設（第 号） ☑ 有害物質貯蔵指定施設	□ 有害物質使用特定施設（第 号） □ 有害物質貯蔵指定施設
型 式	貯蔵タンク (〇〇 社製 △△) 別添No. 〇の写真のとおり	
構 造	ステンレス製（構造図は別図〇のとおり）	
主 要 寸 法	直径1500mm×6000mm×1基	
能 力	貯蔵量 各10000 L	
配 置	製造工場の屋外に設置 (配置は、資料〇のとおり)	
床 面 及 び 周 囲	床面及び周囲は厚さ100mmのコンクリートで、〇〇樹脂で被覆 周囲には防液堤を設け、流出を防止(貯留量〇m3)	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙12についての記載方法

別紙12には、有害物質貯蔵指定施設「本体」及び「床面及び周囲」の構造等について記載して下さい。なお、床面及び周囲とは、一般的には以下のとおりです。

有害物質貯蔵指定施設の設置場所の床面であって、当該施設の下部に加え、当該施設の稼働及び関連する作業によって有害物質が飛散や漏えいした際に地上部に影響が及ぶことが想定される範囲。施設の周囲において流出防止の措置が取られている場合には、その範囲までとして捉える。なお、地上部に設置される配管等について、施設本体に設置されるバルブ類、配管の継手類やフランジ類等の特に漏えいのおそれの大きい機器類の下部の床面についても、施設の周囲にある床面に含める

1 工場又は事業場における施設番号

工場又は事業場内の全施設のうちから当該有害物質貯蔵指定施設を特定するために当該工場又は事業場において振り分けた番号を記載。

2 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 有害物質貯蔵指定施設の欄にチェック。

3 型式

当該有害物質貯蔵指定施設本体について、メーカー名、機種名、規格の番号、写真等、施設を特定できる内容を記載。

4 構造

当該有害物質貯蔵指定施設本体の主要な材質・構造を記載し、構造図、カタログ、写真等を添付。

5 主要寸法

当該有害物質貯蔵指定施設本体の外形寸法又は主要部の寸法を記載。構造図、カタログ等で寸法が分かるものを添付。写真の場合は、寸法を直接記載する等の上添付。

6 能力

当該有害物質貯蔵指定施設本体の最大貯蔵量を記載。可能な限り、kgやtなどの重量ではなくL(リットル)や m^3 などの量で記載すること。

7 配置

当該有害物質貯蔵指定施設本体について、配置場所の建物の名称・位置等を記載。

地下(半地下)に設置されている場合には、必ずその旨記載すること。

当該有害物質貯蔵指定施設だけでなく、当該施設に付帯する設備等、主要施設及びこれらに関連する主要機械又は主要装置の配置が分かる図面を添付。

必要に応じ、色分けする等で他の施設と区別すること。

8 床面及び周囲

施設の床面及び周囲について、構造基準に対する適合の有無がわかる旨を記載。例えば、施設の床面及び周囲の材質、防液堤・側溝・ためます・受け皿等、想定流出量分の流出を防止できる設備について記載。

想定流出量分の流出を防止できる設備については、可能な場合、その容量を記載。

これらの図面(概要が分かるもの)を添付。

9 設置年月日

記載不要。

10 工事着手予定年月日：工事着手日について届出受理日より60日以上経過した日を記載すること。

60日の実施制限期間の短縮を希望される場合でも、60日以上経過した日を記載しなければなりません。

工事完成予定年月日：工事完成予定日を記載。

使用開始予定年月日：使用開始予定日を記載。

11 その他参考となるべき事項

当該有害物質貯蔵指定施設の構造等について参考となるべきことを記載

※各記入欄が小さい場合は、別に資料、図面等を作成し提出しても良い。ただし、記入欄には、「別添 ◎◎のとおり」と明記し、どの資料、図面等に記載しているかを明確にすること。

~~有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）~~の設備

工場又は事業場における施設番号	A - 1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設（第 号） <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設（第 号） <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設
設 備	（当該施設への流入側） ・地上配管×1本 ・バルブ×1個 ・フランジ×1個 （当該施設からの送水側） ・地上配管（一部地下）×1本 ・バルブ×1個 ・フランジ×4個 ・ポンプ×1個	
構 造	（流入側） 地上配管×1本：ステンレス+〇〇による耐腐食コーティング バルブ×1個：ステンレス+〇〇による耐腐食コーティング フランジ×1個：ステンレス+〇〇による耐腐食コーティング （送水側） 地上配管（一部地下）×1本：ステンレス+〇〇による耐腐食コーティング（地下配管部分についてはトレンチ構造：コンクリート+△△による被覆） バルブ×1個：ステンレス+〇〇による耐腐食コーティング フランジ×4個：ステンレス+〇〇による耐腐食コーティング ポンプ×1個：別添仕様書のとおり	
主 要 寸 法	地上配管（流入） 直径150mm×20m 地上配管（送水） 直径150mm×40m（うち、地下部分については15m） トレンチ：幅400mm×深さ400mm×16m	
配 置	・製造工場の屋外から貯蔵タンクまで ・貯蔵タンクから供給口まで （配置は、資料〇のとおり）	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

別紙13についての記載方法

別紙13には、有害物質貯蔵指定施設「本体」に付帯する配管等、排水溝等（以下「設備等」という。）について記載下さい。

なお、配管等、排水溝等とは以下のとおりです。

配管等 : 有害物質使用特定施設等の施設本体に付帯する配管本体、継手類、フランジ類、バルブ類、ポンプ設備等。
排水溝等 : 有害物質使用特定施設等の施設本体に付帯する排水溝、排水ます及び排水ポンプ等の排水系統の設備等。

1 工場又は事業場における施設番号

工場又は事業場内の全施設のうちから当該有害物質貯蔵指定施設を特定するために当該工場又は事業場において振り分けた番号を記載。

2 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 有害物質貯蔵指定施設の欄にチェック。

3 設備

設備等の全てについて記載。

4 構造

「3 設備」に記載した設備等の材質を記載し、検知設備を有する場合にはその旨記載すること。
これらの構造等が分かる資料（設計図、構造図、カタログ、写真等）を添付。
（構造基準に対する適合の有無がわかる旨を記載し、それを説明・補完する添付資料が必要）

5 主要寸法

「3 設備」に記載した設備等の主要寸法を記載。可能な限り、図面等を添付。

6 配置

設備等が設置された建物の名称・位置等を記載。

地下（半地下・一部地下）に設置されている場合には、必ずその旨記載すること。

設備等の配置が分かる図面等を添付。

7 設置年月日

記載不要。

8 工事着手予定年月日：工事着手日について届出受理日より60日以上経過した日を記載すること。

60日の実施制限期間の短縮を希望される場合でも、60日以上経過した日を記載しなければなりません。

工事完成予定年月日：工事完成予定日を記載。

使用開始予定年月日：使用開始予定日を記載。

9 その他参考となるべき事項

当該有害物質貯蔵指定施設の設備等の構造等について参考となるべきことを記載

設備等のうち、有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、この欄にその旨記載すること（流れない理由や、流れないようにする方法等も記載）。

なお、有害物質を含むか含まないかの判断は、法で定められた測定法で測定して検出されるかされないかによる。

※各記入欄が小さい場合は、別に資料、図面等を作成し提出しても良い。ただし、記入欄には、「別添 ◎◎のとおり」と明記し、どの資料、図面等に記載しているかを明確にすること。

~~有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）~~の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設（第〇号） <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設（第〇号） <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設
設 置 場 所	工場A棟の屋外から工場A棟の1階 (資料〇のとおり)	
操 業 の 系 統	〇〇反応施設から△△△△が送液され、タンクローリーへ供給する。	
使 用 時 間 間 隔	9 : 0 0 - 1 8 : 0 0	
1日当たりの使用時間	9時間/日	
使用の季節的変動	〇月～〇月使用多い（繁忙期）	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）		
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	△△△△（〇～〇%）	
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

別紙14についての記載方法

1 工場又は事業場における施設番号

工場又は事業場内の全施設のうちから当該有害物質貯蔵指定施設を特定するために当該工場又は事業場において振り分けた番号を記載。

2 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 有害物質貯蔵指定施設の欄にチェック。

3 設置場所

当該有害物質貯蔵指定施設について、設置場所を記載。。

4 操業の系統

有害物質貯蔵指定施設を含む操業系統を記載。また、有害物質貯蔵指定施設を含む工場・事業場全体の製造フローシートを添付。

5 使用時間間隔

使用する日の使用時間帯を記載。

6 1日当たりの使用時間

使用する日の1日あたりの使用時間を記載。

7 使用の季節的変動

貯蔵する有害物質の使用について、季節変動がある場合はその旨記載。季節変動がない場合は、その旨が分かるように記載。(例：季節変動なし)

8 原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)

有害物質貯蔵指定施設の場合は記載不要。

9 貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)

貯蔵する有害物質及び濃度を記載する。

10 その他参考となるべき事項

使用の方法について、その他参考となるべき事項があれば記載。

有害物質貯蔵指定施設の管理要領、点検の内容、点検の頻度等について、必要に応じて資料を作成し、添付することが望ましい。

※各記入欄が小さい場合は、別に資料、図面等を作成し提出しても良い。ただし、記入欄には、「別添 ◎◎のとおり」と明記し、どの資料、図面等に記載しているかを明確にすること。

~~用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）~~

施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）

```
graph TD; A[原料（有害物質を含まない）] --> B[生産設備]; B --> C[有害物質貯蔵指定施設]; C --> D[供給口];
```

生産設備によって製造された△△△△は、配管をとおり、有害物質貯蔵施設に供給。
連続供給、1日 1～2 m³

貯蔵された△△△△は、配管をとおり、供給口からタンクローリーに供給される。
約 7 日に 1 台。1 台約 5～10 m³。

構造基準適用範囲

用途別用水量	用	途	使	用	水	用水使用量(m ³ ／日)

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水量の欄には記載しないこと。

別紙15についての記載方法

- 1 施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）

有害物質貯蔵指定施設にて貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統について記載。ただし、**同一工場・事業場内に特定施設が有る場合は、「施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統」についても可能な限り記載。**

構造基準が適用される範囲を明示すること。別図等で明示している場合は不要。

当該施設への搬入及び搬出の方法、頻度、量等について記載すること（下記例も参照）。

（例）

搬入：タンクローリーから供給、1週間に1回程度、約30分/回、○～○m³/回

搬出：配管をとおり、特定施設である○○施設に供給、連続供給、1日1000L

搬入：シアンを含む廃液を1日1回約50L、○○を用いて廃液タンクに搬入

搬出：産業廃棄物処理業者のタンクローリーに、ホースにて搬出。月1～3回、約1時間/回、○～○m³/回

同工場・事業場内に特定施設が有る場合は、当該特定施設について「施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統」についても可能な限り記載。

必要に応じ、搬入及び搬出の系統がわかる図面を添付。

2 用途別用水使用量

有害物質貯蔵指定施設の場合、記載不要。

ただし、同一工場・事業場内に、特定施設がある場合は記載。

※各記入欄が小さい場合は、別に資料、図面等を作成し提出しても良い。ただし、記入欄には、「別添 ◎◎のとおりに」と明記し、どの資料、図面等に記載しているかを明確にすること。

添付が必要な図面について

下記についての図面等（A3 又は A4）も添付して下さい。

（提出様式自由：下記の複数の内容を、1 つの図面で示してもよい。）

必要添付図面	作成方法等
工場等付近見取図	市販の地図やインターネットで利用できる地図等を利用して、工場・事業場の位置を明記。
有害物質貯蔵指定施設及びその付帯する設備、特定施設、主要機械、主要装置、污水处理施設等の配置図	事業場平面図に、有害物質貯蔵指定施設及びその付帯する設備、特定施設、主要機械、主要装置、污水处理施設等を明記。
有害物質貯蔵指定施設の構造図	設計図・仕様書・カタログ・写真等、有害物質貯蔵指定施設を同定できるもの。
有害物質貯蔵指定施設及びその付帯する設備に係る構造基準が適用される範囲がわかる図面	「床面及び周囲」、「施設本体」、「付帯する配管等」、「排水溝等」、「地下貯蔵施設」の構造基準が適用される範囲を事業場平面図や有害物質貯蔵指定施設の周辺図等を用い明示し、適合する基準（※1）もそれぞれ記載する。
施設の操業系統図（フローシート）	有害物質貯蔵指定施設を含む操業系統図。原料から製品までの製造工程を示すフローシートを作成し、有害物質貯蔵指定施設に該当（関与）する工程を明記する。
有害物質に係る搬入及び搬出の系統に係る図面	事業場平面図に有害物質に係る搬入と搬出に係る位置、移動経路、流路等が分かるように記載。
有害物質の取り扱い状況が分かる資料	参考様式が届出様式と同時にダウンロードできるのでそれに必要事項を記載し提出。
使用、設置又は変更にかかる概要（理由）	事業場の概要が分かる資料（パンフレット・ホームページを利用する等）。（施設を追加設置する場合や、変更する場合は、その理由等が分かる資料）。

有害物質が流入する污水处理施設がある場合には下記図面等についても添付して下さい。

必要添付図面	作成方法等
主要河川等までの排水経路図	上記工場付近見取り図に主要河川または海域までの排水経路を明記。
污水处理施設の構造図	設計図・仕様書・カタログ・写真 等
污水处理施設の処理系統図（フローシート）	設計図・仕様書・カタログ・写真 等
工場（内部）排水経路図	事業場平面図に、有害物質貯蔵指定施設、特定施設、污水等の処理施設、用・排水経路及び排水口又は 浸透施設の位置を明記

（※1）構造基準の分類

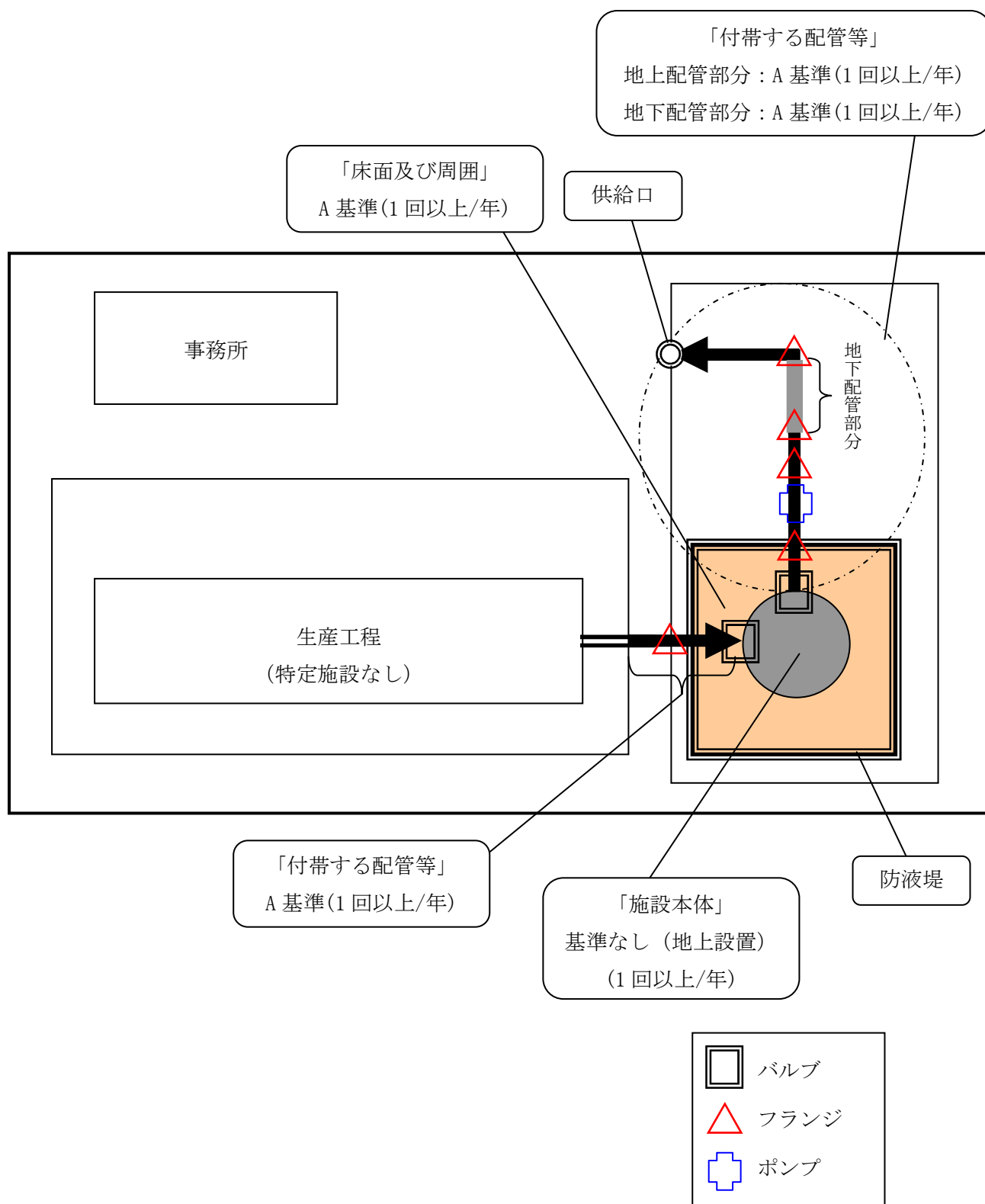
新設・既設による区分	法施行後 3 年間 (H27. 5. 31 まで)	法施行後 3 年以降 (H27. 6. 1 から)
新設 (H24. 6. 1 以降に設置された (工事中含む) 施設)	A 基準	
既設 (H24. 5. 31 までに設置された (工事中含む) 施設)	A、B 又は C 基準	A 又は B 基準

A 基準：水質汚濁防止法施行規則第 8 条の 3～第 8 条の 6

B 基準：水質汚濁防止法施行規則附則第 3 条～第 6 条

C 基準：構造基準なし (B 基準に適合しない場合の猶予)

- 「有害物質貯蔵指定施設に係る構造基準が適用される範囲がわかる図面」の例
(模式案としたもので、実際は平面図にできるかぎり正確に記載する)



※この他の必要添付図面の例示は省略します。